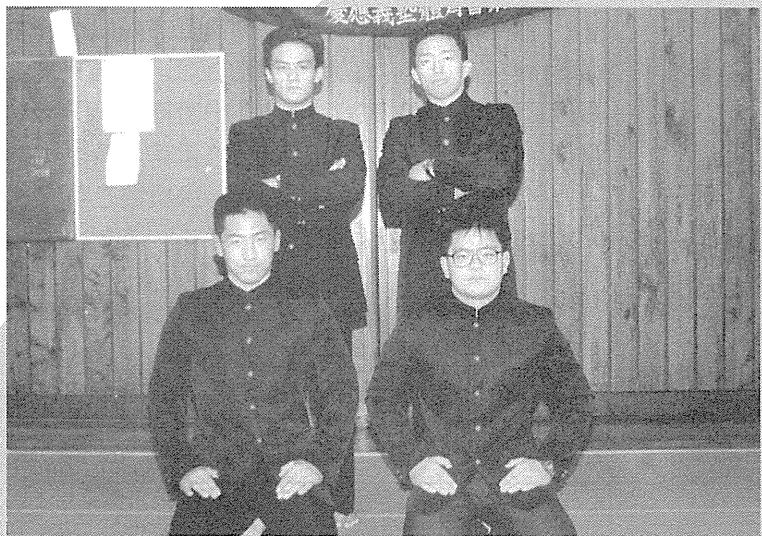


1990年度／平成2年度（平成2年4月～平成3年3月）



役 員

部長：田村 茂
師範：清水 直臣、安藤 勝英
総監督：成毛 秀臣
監督：植村健次郎
主将：土屋 嘉広
主務：吉沢 大介
副将：渡辺 祐二
幹事：鈴木 学
学連委員：武田 昇
体育会常任委員：宇田 博信
副務：米沢 博行、折井 陽太
新人監督：土屋 剛
日吉高コーチ：渡辺 一博
志木高コーチ：三島 一樹
普通部コーチ：林政 一郎
中等部コーチ：加賀美行彦
幼稚舎コーチ：高柳 雅矢
合宿所主務：竹村 賢一
合宿所副務：清水 健

行きかつたコンサート

吉沢 大介

入部した年の夏、この時まで残っていた同期の仲間は4人だけで、しかも運の悪いことにこのうち渡邊と鈴木の2人がケガと病気で入院したり故郷で療養したりしていた。夏休み中の練習や朝食の準備などは後に主将となる土屋と2人でやることになったのだが、大学から柔道を始めた自分にとっては暑さの中での長時間の練習と初めての合宿生活は厳しく必死で毎日を過ごしていた。

練習では、時には先輩方と互角に渡り合っていた土屋に対してこっちはほとんど投げられマシーンでひたすら受身の繰り返しだった。酒を飲んでも土屋はいっこうに顔色が変らず気持ち良く杯を重ねる。こっちは勢いよく飲むものに、体がついていかず動けなくなってしまうこともたびたびだった。それでも腐らずにがんばれたのは夏休みの練習の途中で、先輩から聞いたある話が支えになっていたからだ。

「夏休みの練習に対して主将が“努力賞”を出すらしい。対象となるのは新人で、土屋か吉沢しかいない。夏の練習をどれだけがんばったかが選考基準。景品としてマイケル・ジャクソンのコンサートのチケットが付きさらに、午後の練習を休んで行けるようだ」

!!!!!!、マイケル・ジャクソン!!!!当時マイケル・ジャクソンは人気の絶頂期で、そのチケットはプラチナペーパーだった。しかも選考は柔道の強さでなくこの夏の練習をどれだけがんばったのかが基準らしい、さらに土屋は音楽には全く興味がなくそのチケットの重みはわからない…。

考えるほどに、その賞は自分がもらうためにあるのだろうという気持ちに日に日になっていった。柔道

では土屋にかなわないから、走るトレーニングでは負けないようにがんばり確か一回も負けなかった。土屋は声が低く目立たないので声だけはよく出して目立つようにした。

そして夏休みの締めの部内の練習試合。土屋と当たった自分は努力賞への思いの強さからか、開始早々に仕掛けた大外がりを運良く決め、土屋から技アリのポイントを先行する（これ以降彼からポイントをとったことは一度もない）。努力賞を一気に引き寄せたと思い、その試合は粘りに粘って、残り十秒までポイントでリードしていた。このまま逃げ切れるかと考えたその瞬間、土屋が力まかせにかけた払い腰で一本負けをしてしまった。しかしきれいな一本ではなく、技アリに近い（と自分では今でも思っている）もので、力関係から考えると大健闘の試合だった。

そして午前の練習が終わり、努力賞の発表。その時の主将の言葉の一語一語を今でもはっきりと覚えている。

「2人ともよくがんばった、本当にね、よくがんばった。2人にね、甲乙は付け難いんだけどね、えー紙一重でね、努力賞は…ツ・チ・ヤ…」

「…………」土屋は灰色のTシャツに灰色のバッグを肩にかけて、自分を残してコンサート会場に行った。（後楽園球場だった気がする）その日、気になった先輩方が声をかけ飲みにつれて行ってくれた。かなり飲んだ時に自分の立場では許されないと思いつつも「あれは一本じゃないのでは……」と言ってしまった。その時「イヤ、どちらにでも採れる。それ位にキマッテいた技だった」と言われ納得したことよく覚えている。

今でも土屋に会うとまず思い出すのはこの努力賞の思い出です。

試合記録

■第39回 東京学生柔道優勝大会 平成2年5月27日 日本武道館

1回戦	本 塿	5	-	0	一橋大学
	高柳 依正	1年	引分け		清井孝典
	加納 幸喜	1年	内股		井筒重明
	渡辺 一博	3年	足払い		香川卓也
	渡辺 裕二	4年	引分け		河野俊介
	鈴木 学	4年	背負投げ		塚本洋平
	唐木 敏行	1年	払腰		下木原仁
2回戦	本 塿	1	-	4	東洋大学
	鈴木 学	4年	払腰	○	松田耕治
	加納 幸喜	1年	払腰	○	山城純次
	渡辺 一博	3年	払腰	○	安部浩一
	渡辺 裕二	4年	払腰	○	立花与寿
	土屋 剛	3年	送り襟絞め	○	古川正人
	唐木 敏行	1年	引分け		酒井田晶
	土屋 嘉広	4年	引分け		橋本勝幸

■第9回 東京学生柔道体重別選手権大会 平成2年9月2日 日本武道館

-60kg級 高柳 依正 5位 (全日本学生出場権獲得)

-65kg級 吉沢 大介 ベスト16

-86kg級 渡辺 裕二 ベスト16

■第9回 全日本学生柔道体重別選手権大会 平成2年9月8日 日本武道館

-60kg級 高柳 依正 出場

■第32回 東京学生柔道二部優勝大会 平成2年10月10日 講道館

1回戦	本 塿	7	-	0	桜美林大学
	高柳 依正	1年	○	合せ技	中村和信
	土屋 剛	3年	○	合せ技	川地和明
	鈴木 学	4年	○	袖釣込み腰	宮原重明
	加納 幸喜	1年	○	払腰	岩左引之
	渡辺 裕二	4年	○	横四方固め	平山智
	三島 一樹	3年	○	崩れ袈裟固め	大阪太郎
	土屋 嘉広	4年	○	崩れ上四方固め	淵俊樹
2回戦	本 塿	6	-	1	成蹊大学
	渡辺 一博	3年		支釣込み足	○ 長谷川聰
	土屋 �剛	3年	○	腕拉ぎ十字固め	三浦武彦
	鈴木 学	4年	○	背負投げ	広川聰
	加納 幸喜	1年	○	払腰	米田陽介
	渡辺 裕二	4年	○	送り襟絞め	福田強
	唐木 敏行	1年	○	合せ技	黒川真人
	土屋 嘉広	4年	○	上四方固め	日時本文人
3回戦	本 塿	3	-	0	東京大学
	高柳 依正	1年		引分け	柴山修
	土屋 剛	3年		引分け	渡辺卓也
	渡辺 一博	3年	○	小外刈り	町田栄治
	加納 幸喜	1年	○	横四方固め	鴨野博道
	渡辺 裕二	4年		引分け	木村博行
	唐木 敏行	1年	○	大外刈り	田中祐治

土屋 嘉広	4年		引分け		青野貴芳
本 塾	1			4	大正大学 優秀選手：加納幸喜
高柳 依正	1年		蟹挟み	⊖	井口孝行
土屋 剛	3年		引分け		寺田義輝
唐木 敏行	1年		払腰	○	行徳祐二
加納 幸喜	1年	○	横四方固め		熊谷修
渡辺 祐二	4年		引分け		市川謙
三島 一樹	3年		払腰	○	雄山剛光
土屋 嘉広	4年		大外刈り	⊖	轟君昭

■第42回 早慶対抗柔道戦 平成2年10月21日 早稲田大学柔道場

本 塾			○	早稲田大学	1人残し 優秀選手：土屋嘉広、唐木敏行、高柳依正
高柳 依正	1年	○	背負投げ		浅 野
高柳 依正	1年		引分け		鈴木（智）
関口 健一	3年		引分け		渡辺（昌）
加賀美行彦	3年	⊖	注意		山 村
加賀美行彦	3年		大外刈り	○	古谷野
友田 雄輔	1年		小内刈り	○	古谷野
高柳 雅矢	2年		注意	⊖	古谷野
鈴木 学	4年	○	背負投げ		古谷野
鈴木 学	4年		背負投げ	○	竹 本
米沢 博行	3年		注意	⊖	竹 本
林 政一郎	3年		引分け		竹 本
岸野 公勇	3年		引分け		石 川
三島 一樹	3年		引分け		定 松
清水 健	2年		大外刈り	○	鈴木（新）
唐木 敏行	1年	○	内股		鈴木（新）
唐木 敏行	1年		引分け		三 沢
宇田 博信	3年		注意	⊖	梅 田
竹村 賢一	3年	○	送り襟絞め		梅 田
竹村 賢一	3年		体落し	○	渡部（耕）
吉沢 大介	4年		引分け		渡部（耕）
土屋 剛	3年	⊖	小内巻き込み		大 石
土屋 剛	3年		内股	○	道 脇
渡辺 祐二	4年		引分け		道 脇
土屋 嘉広	4年	○	袈裟固め		佐 藤
土屋 嘉広	4年		引分け		森 川
加納 幸喜	1年	○	横四方固め		月 岡
加納 幸喜	1年		引分け		佐 野
渡辺 一博	3年		引分け		石 塚
					吉 村